

平成16年度男女共同参画関連施策予算
(概算要求)

平成15年9月
外務省

I. 国際機関を通じた支援 (単位: 千円)

事 項	平成15年度 予 算 額	平成16年度 概算要求額	備 考
1. 国連開発計画 (UNDP)パートナー シップ基金	UNDP 人造り 基金・WID 基 金・IT 基金を 整理統合した 「パートナー シップ基金」 400,000 (327.9 万ドル)	パートナーシッ プ基金 386,885 (327.9 万ドル) として概算要求	3.3%減
2. アジア工科大学院 (AIT)WID 講座支援	4,880 (4 万ドル)	4,720 (4 万ドル)	3.3%減
3. 国連婦人開発基金 (UNIFEM) 拠出金	99,357 (81.44 万ドル)	96,099 (81.44 万ドル)	3.3%減
4. 女性に対する暴力 撤廃のための国連婦 人開発基金信託基金 拠出金	28,109 (23.04 万ドル)	21,750 (18.43 万ドル)	22.6%減

II. JICAによる途上国の女性支援 (WID: Women in Development)

技術協力プロジェクト、研修員受入事業等においては、途上国のニーズを踏まえつつ、引き続きWID関連事業に配慮する。

III. 草の根無償資金協力、一般無償資金協力等によるジェンダー関連支援の拡充

(了)

平成16年度男女共同参画関連施策予算（概算要求）

平成15年9月
外務省

1. 基本的考え方

政府開発援助大綱（8月29日閣議決定）

「男女共同参画の視点は重要であり、開発への積極的参加及び開発からの受益の確保について十分配慮し、女性の地位向上に一層取り組む。」

2. 国際機関を通じた支援

(1) 国際連合開発計画(UNDP)	15年度	16年度
パートナーシップ基金	3,278,689ドル	3,278,689ドル
	400,000千円	386,885千円

概要：日本がUNDPに設置していたWID (Women in development) 基金、人づくり基金、情報通信技術(ICT: information, communication and technology) 基金を平成15年度に整理統合したもの。女性のエンパワーメント、男女格差の是正を目指す活動への支援は、重点分野の一つ（具体的には、教育、医療保健サービス、融資、情報へのアクセスの拡大、政治や経済活動に参画するためのトレーニングの提供を行う。）。

(2) 国際開発教育・研究機関(AIT)	15年度	16年度
アジア工科大学院	40,000ドル	40,000ドル
	4,880千円	4,720千円

概要：アジア地域の科学分野の人材育成を目的とするAITにおけるWID講座に対しイヤマークし、講師招聘経費等を支援。

(3) 国際連合婦人開発基金 (UNIFEM)	15年度	16年度
	814,400ドル	814,400ドル
	99,357千円	96,099千円

概要：UNDP等、他の大きな機関が拾いきれない小規模なプロジェクトで、開発途上国の女性が直接裨益する具体的なプロジェクトを支援。

(4) 女性に対する暴力撤廃のための国際連合婦人開発基金信託基金	15年度	16年度
	230,400ドル	184,320ドル
	28,109千円	21,750千円

概要：社会的・経済的理由により、暴力等の被害を受けた女性及び暴力を受けやすい女性に対する職業的自立促進事業や、女性に対する暴力に対処する組織の強化や支援を行う。

3. 二国間援助

(1) 援助実施における配慮

概要：開発援助の実施においてW I D / ジェンダーの視点に配慮する。

(イ) 技術協力 (J I C A)

- ・ジェンダー・W I D 懇談会、開発とジェンダー支援委員会、ジェンダー・W I D 研究会を定期的に開催。
- ・ジェンダー主流化やW I D 配慮に関するマニュアルを整備。
- ・ジェンダーに関する職員研修、専門家養成研修、専門家派遣前研修等を実施。

(ロ) 無償資金協力

- ・要望調査においてジェンダー配慮を調査。
- ・基本設計調査において女性を中心とする地域住民から意見を聴取。

(2) ジェンダー関連案件の実施

概要：ジェンダー関連案件を積極的に実施する。

(イ) 技術協力

ジェンダー関連案件は平成13年度のJ I C A 技術協力実績で研修員受入2,586人、専門家派遣59人、機材供与53件、技術協力プロジェクト64件、青年海外協力隊派遣402人など(全体の経費の約14%)

(具体例)

リプロダクティブ・ヘルス指導者セミナー、農村女性能力向上コース、母と子の健康手帳プロジェクト

(ロ) 無償資金協力

ジェンダー関連案件は平成14年度の一般プロジェクト無償資金協力実績で64件(全体の件数の約41%)、約398億円(金額の約21%)、草の根無償実績で358件(全体の件数の約25%)、約23億円(金額の約25%)。

(具体例)

- ・女性のための職業訓練センター施設の整備、機材の供与
- ・母子保健のための病院への機材の供与
- ・飲料水供給施設の整備(水汲み労働の軽減)
- ・暴力被害女性シェルターセンターへの機材の供与

(了)